

生き活きセンター

「あなたと歩む 地域と生きる」

第 2 次 中 期 計 画

平成 31 年度～平成 35 年度

(2019 年度～2023 年度)



知恵ぶくろー君

(富山県シルバー人材センターキャラクター)

公益社団法人 高岡市シルバー人材センター

平成 31 年 3 月

目 次

中期計画策定にあたって	P1
I 計画策定の目的	P2
II 計画の期間	P2
III 基本計画	
1 会員数の増強	P3
2 受託事業の拡大	P5
3 就業率と就業能力の向上	P9
4 安全就業の徹底	P10
5 適正就業の推進	P12
6 組織・事業の充実強化	P12
7 財政基盤の強化	P13
IV 資 料	
1 高岡市高齢者人口の推移	P15
2 シルバー会員数と入会率	P15
3 シルバー会員男女別入会率	P16
4 会員の年齢構成	P16
5 業務受託状況	P17
6 その他	P17

第2次中期計画策定にあたって

高岡市シルバー人材センターは、昭和57年に設立され、平成18年の統合を経て、今日まで顧客の皆様方はもとより、会員、関係行政機関、地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、元気で働く意欲のある高齢者の活動拠点として、地域社会の一翼を担って参りました。

平成23年度には公益社団法人に移行し、平成25年度末に最初の中期計画（平成25年度～平成30年度）を策定してセンター事業のさらなる発展と拡充を目指してきたところです。また、計画期間中の平成26年10月には、シルバーショップたかおかを開設し、会員に新たな就業機会を創出するとともに、中心市街地の活性化、賑わいづくりに一定の成果をあげているものと認められます。

さて、我が国の社会情勢は、人口減少・少子・超高齢社会の進行のもとで、定年の廃止・年齢の引上げ、継続雇用制度の定着や社会保障制度の改革、また、働き方改革の進展など、めまぐるしく変化しております。

また、企業の人手不足も深刻な状況が続き、近年富山県では有効求人倍率が2倍前後と、依然として高水準で推移しています。

労働力人口の減少が進行する中、女性や高齢者などの潜在的な労働力の掘り起しが急務であるとされており、特にサービス業等の人手不足分野や介護、育児等現役世代を支える分野における高齢者の就業機会の拡大が期待されております。

シルバー人材センターは、このような社会の要請を受け止め、会員が生きがいを持って活躍できるよう、就業機会の拡大と就業ニーズの多様化に対応していくため、積極的な事業展開を図っていく必要があります。

これらを踏まえ、当センターでは、第1次計画が平成30年度末で計画終期を迎えますことから、今般、新たに第2次中期計画として今後5年間のシルバー人材センターの計画目標などを定めたものです。今後、この計画を基本指針として事業運営に取り組み、市民の皆様から愛され、親しまれ、そして時代の要請に対応可能な魅力あるシルバー人材センターを目指して会員・役員・事務局が一体となって取り組んで参ります。

平成31年3月

公益社団法人
高岡市シルバー人材センター
理事長 山 達 是 人

I 計画策定の目的

平成26年に策定した第1次中期計画に基づき、これまで培った実績を確たるものとし、さらなる飛躍を目指し事業運営に取り組んできました。しかしながら、この5年間の期間中には、少子・超高齢社会の更なる進展、経済状況や雇用形態の変化等社会情勢も目まぐるしく変化し、センターをとりまく環境は一段と厳しさを増してきております。

今後とも働く意欲のある会員の活動の場として、地域のニーズに的確に答えられるシルバーであり続けるために、第2次中期計画（平成31年度から5年間）を策定し、健全で適正なセンター事業運営を期すものとします。

II 計画の期間

本計画の期間は、富山県シルバー人材センター連合会の第3次中期計画（計画期間：平成31年度から35年度）及び全国シルバー人材センター事業協会の会員100万人達成計画（計画期間：平成30年度から36年度）にも対応していくため、平成31年度から35年度までの5年間とします。

また、本計画の期間中に雇用情勢、経済状況等シルバー人材センターを取り巻く社会環境が大きく変化した場合には、理事会等で適宜、計画の見直しを行うなど柔軟な対応を行います。

Ⅲ 基本計画

1 会員数の増強

(1) 会員数の推移

高齢化社会が進展する中、高岡市シルバー人材センターの会員数も平成 22 年度には 1,303 人に達しましたが、その後は、国の 65 歳までの継続雇用制度の浸透や高年齢者を積極的に雇用する企業が増加するなど、会員数は減少傾向にあります。

男・女別の加入割合では、本市の女性会員は平成 29 年度で 41.5%を占め、県全体の 38.2%を若干であります。上回っています。

会員数の推移

(単位：人)

年度	男性会員	割合%	女性会員	割合%	会員数	備考
18	749	62.8	443	37.2	1,192 人	センター統合
22	850	65.2	453	34.8	1,303 人	最多会員数
26	678	60.7	439	39.3	1,117 人	1 次計画初年度
27	639	59.8	430	40.2	1,069 人	
28	619	59.3	424	40.7	1,043 人	
29	600	58.5	425	41.5	1,025 人	

(2) 入会動機、退会理由

平成 29 年度の入退会の理由は次のとおりです。

入会の動機では「生きがい、社会参加」、「時間的余裕」、「健康維持・増進」など、積極的な社会参加を望む理由が多く占めています。

入会動機 (H29 年度)

(単位：人)

区 分	男性	女性	合計	割 合
1 生きがい、社会参加	21	22	43	41.3%
2 仲間作り	2	0	2	1.9%
3 時間的余裕	14	13	27	26.0%
4 健康維持・増進	6	12	18	17.3%
5 経済的理由	6	5	11	10.6%
6 その他	0	3	3	2.9%
合 計	49	55	104	

退会理由では、「病気」、「加齢」によるものが多く、次いで「就業機会なし」「その他で就職」となっています。

退会理由（H29 年度）

（単位：人）

区 分	男性	女性	合計	割 合
1 病気（本人）	16	14	30	24.6%
2 シルバー事業を通じて就職	0	2	2	1.6%
3 その他で就職	7	8	15	12.3%
4 死亡	7	0	7	5.7%
5 転居	4	0	4	3.3%
6 希望する仕事なし	6	4	10	8.2%
7 就業機会なし	7	9	16	13.1%
8 家庭の事情（介護等）	3	4	7	5.7%
9 会費未納	0	0	0	0.0%
10 加齢	14	12	26	21.3%
11 他団体等への加入	0	0	0	0.0%
12 センター運営に対する不満	0	0	0	0.0%
13 未回答（不明）	0	0	0	0.0%
14 その他	4	1	5	4.1%
合 計	68	54	122	

(3) 会員数の目標

全国シルバー人材センター事業協会の「会員 100 万人達成計画」に基づき、平成 35 年度には 1,358 人を目指します。

会員数については、生産年齢人口の減少という構造要因を背景に、継続雇用制度の浸透や民間企業の雇用増大等により入会者数が伸びないこと、また会員の高年齢化や企業に就職するなど退会者が増加しています。

このような中、シルバー人材センターは高年齢者が長年培ってきた知識や経験を地域社会で活かすための有効な拠点であることや、高年齢者比率の高まりのなかでシルバー会員の潜在者は多いものと見込まれ、新規会員の勧誘を図りながら組織の強化に務めていきます。

年度別目標値（会員数）

年 度	会員数	備 考
平成 31 年度	1,105 人	
平成 32 年度	1,148 人	対前年比 3.9%増
平成 33 年度	1,214 人	対前年比 5.8%増
平成 34 年度	1,284 人	//
平成 35 年度	1,358 人	//

※会員 100 万人達成計画に基づいた目標値

【具体的な取組み】

① 入会促進

- ・会員が新たな会員を紹介する「友達紹介キャンペーン」を実施します。
- ・ハローワーク高岡で「入会相談会」を開催します。
- ・関係機関窓口への案内パンフレットの設置やイベント会場でのPRを行います。
- ・ホームページを利用した啓発を行います。
- ・各種広報紙への掲載を行います。

② 退会防止

- ・会員向けの事務局だよりを発行し「就業情報」の提供に努めます。
- ・未就業者への電話等による就業相談や現況の把握を行います。
- ・会員互助会と連携し、会員向けに魅力ある行事を企画・実施します。
- ・地区委員へ退会防止への協力を依頼します。

③ 女性会員の増強

核家族化の進展や高齢者単身世帯の増加に伴い、一般家庭での家事援助サービスや保育補助・介護補助などの需要が高まっております。女性会員の活躍が期待される就業分野が一層増加するものと予測されることから、女性会員の増強を図りながら社会ニーズに対応していきます。

- ・女性会員の紹介による会員の増強
- ・レディースデーを開催し、女性会員の交流や意見交換の機会を設けます。

④ 適切な会員情報の把握と管理

会員情報として、職歴や経験分野、希望職種は言うまでも無く、有資格者や特殊技能保持者の有効活用、その他、特技や趣味、関心事なども含め詳細に把握し、依頼ニーズに対し迅速で的確な対応が可能となるように、また、幅広い業務の対応ができるよう情報管理に努めます。

適切な会員情報の把握と管理に努め、未就業会員の減少も図っていきます。

- ・新入会者の職歴情報や保有資格、就業希望分野の把握を徹底します。
- ・未就業会員の定期情報の収集に努めます。

2 受託事業の拡大

(1) 受託件数の推移

受託件数は、平成26年度～28年度には若干減少しましたが、平成29年度は14,926件となり前年より420件増加し、派遣事業の受託件数も順調に伸びています。

職群別件数では、技能群で減少していますが、一般作業群やサービス群で増加傾向にあります。増加要因としては、核家族化・高齢化社会の進展に伴う一般家庭からの日常生活の支援などの依頼が増加しています。

受託件数の推移（年度別）

（単位：件）

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
公共機関	909	898	947	927	911
民間事業所	3,904	3,889	3,815	3,869	4,016
一般家庭	10,085	100,71	9,912	9,710	9,999
合計	14,898	14,858	14,674	14,506	14,926
対前年比		△33	△184	△168	420

受託事業の件数推移（職群別）

（単位：件）

作業分類 （主な作業）	平成 25 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
技術群（ボイラー保守、自動車運転）	32	32	46
技能群（剪定、障子・襖、大工）	8,911	7,842	7,779
事務群（賞状・宛名書き、表札書き）	572	509	504
管理群（駐輪・駐車場整理、施設管理）	696	699	660
折衝外交群（予約配布、店番）	82	78	105
一般作業群（製造補助、清掃、除草、除雪、設営）	3,436	4,413	4,461
サービス群（家事手伝い、通院付き添い）	1,169	1,101	1,371
計	14,898	14,674	14,926

派遣事業の件数推移

（単位：件）

	平成 25 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
派遣事業の件数	7	30	43

(2) 契約金額等の推移

契約金額はセンター統合時の平成 18 年度では 644,111 千円でしたが、その後、世界同時不況による経済活動の低迷や産業構造の変化、継続雇用制度の浸透に伴う民間事業所からの受注が減ってきたことに加え、公共機関からの受注も減少しており、総契約金額では減少傾向にあります。派遣事業の契約額については、受託件数と同様に順調に伸びています。

配分金総額では減少傾向にあります。近年では事務群や折衝外交群で微増となっています。増加要因としては、調査事務や筆耕などの依頼が増加しています。

派遣事業の賃金は、平成 29 年度には減少していますが、今後は増加が見込まれます。

契約金額の推移（年度別）

（単位：千円）

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
公共機関	61,799	61,310	59,807	58,058	57,399
民間事業所	289,001	295,646	287,057	284,388	284,082
一般家庭	154,082	155,871	157,959	149,519	152,723
合 計	504,882	512,827	504,823	491,965	494,204
対前年比		7,945	△8,004	△12,858	2,239

受託事業 配分金の推移（職群別）

（単位：千円）

作業分類 （主な作業）	平成 25 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
技 術 群（ホワイ-保守、自動車運転）	6,328	5,493	5,909
技 能 群（剪定、障子・襖、大工）	135,653	116,048	116,922
事 務 群（賞状・宛名書き）	10,601	12,925	14,026
管 理 群（駐輪・駐車場整理、施設管理）	80,418	69,276	63,456
折衝外交群（チラシ配布、店番）	4,182	4,173	5,313
一般作業群（製造補助、清掃、除草、除雪、設営）	178,948	201,998	197,041
サ-ビ-入群（家事手伝い、通院付き添い）	20,996	15,168	14,370
計	437,126	425,081	417,037

派遣事業 賃金の推移

（単位：千円）

	平成 25 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
派遣事業の賃金金額	12,898	20,996	19,073

(3) 受注件数、契約金額の目標

現在の経済情勢は、緩やかな回復基調が続き、雇用・所得環境も改善が続いているとされています。

商工業が盛んな本市において、地元企業や事業所からの受注業務の増減がセンターの事業実績にも大きな影響を及ぼします。賛助会組織や関係ネットワークを生かし企業等からの受注の拡大を図るほか、地元事業者への一層のPRを実施しながらセンター事業の維持・拡大に努めていきます。

また、公共機関においては指定管理者制度の導入や行財政改革が推し進む中ではありますが、一層の働きかけを実施し、平成 35 年度には受注件数で 14,700 件、契約金額では 512,500 千円を目標とした取り組みを行います。

年度別目標値（受注件数、契約金額）

区 分	受注件数	契約金額
平成 31 年度	14,500 件	502,500 千円
平成 32 年度	14,550 件	505,000 千円
平成 33 年度	14,600 件	507,500 千円
平成 34 年度	14,650 件	510,000 千円
平成 35 年度	14,700 件	512,500 千円

(4) 就業開拓

経済環境や社会環境を分析し、ニーズの高まりのある就業分野の開拓を進めます。また、会員が希望する職種の開拓も行い、広くシルバーをPRしていくとともに、人手不足分野や保育及び介護等の現役世代を支える分野において派遣事業での積極的な受注活動を行っていきます。

【具体的な取り組み】

就業開拓委員会を中心とした新規受注の拡大を図るほか、社会情勢の変化を的確にとらえ、会員・役職員が一丸となった取り組みを行ないます。

① 全 般

- ・受注分野の実績等の分析を行い、需要が見込まれる職種の強化
- ・会員が希望する職種や技術、能力を生かせる就業先の開拓
- ・人手不足分野等における派遣事業での就業開拓
- ・ホームページやシルバーショップでのPR
- ・清掃奉仕などのボランティア活動を通じたPR

② 公共機関

- ・公共機関等の業務委託情報を収集し、受注業務の拡大
- ・関係機関との連携を図り、受注拡大に繋がる情報の収集

③ 民間事業所

- ・業種、業務内容別のデータを生かした事業所への個別訪問
- ・賛助会組織の繋がりを生かした事業所等への訪問活動

④ 一般家庭

- ・会員の口コミ情報は有効なPR手段であり、地道な展開を推進
- ・イベント会場等でのチラシ等の配布
- ・女性会員の増強に努め、家事援助・保育補助・介護補助等の分野を開拓

3 就業率と就業能力の向上

(1) 就業率の状況

高齢者が就業を通じ社会参加することを目的として、現在 1,000 名余の会員登録がありますが、このうち全体の 12%近い会員が未就業であり、就業率の改善が課題となっています。

就業率の推移

年度	就業率
平成 25 年度	85.4%
平成 26 年度	85.5%
平成 27 年度	87.1%
平成 28 年度	86.7%
平成 29 年度	88.1%

(2) 就業率の目標

新入会員や未就業者の就業率向上を目指します。

シルバー会員を退会する理由別では「病気、加齢」に次いで「就業機会なし、その他で就職」が多くを占めることから、継続会員を増やすには、会員に対して就業機会を提供し就業率の向上に努める必要があります。

そのためには、幅広く就業先の確保に努め、多くの会員の就業環境を整えることが必要となります。

年度別目標値（就業率）

年 度	就 業 率
平成 31 年度	88.0%
平成 32 年度	88.5%
平成 33 年度	89.0%
平成 34 年度	89.5%
平成 35 年度	90.0%

(3) 就業能力の向上

より多くの会員の就業機会を得ることを目的に、富山県シルバー人材センター連合会と連携し、技能・技術を習得する各種講習会等を開催します。

また、会員個々の作業能力の向上を図り、発注者からの多様化するニーズに対応するための講習を行なうとともに、接遇研修も取り入れながら、会員のスキルアップとサービス向上を目指します。

① 剪定・雪吊り講習会

- ② 調理講習会
- ③ 清掃講習会
- ④ 接遇・マナー研修会

4 安全就業の徹底

就業にあたっては、傷害事故や健康障害が発生しないよう、また、財物に損害を与えぬよう注意を払いながら作業にあたっているところであります。

「安全はすべてに優先する」という会員の心得を念頭に、安全就業に努めていきます。

(1) 事故発生状況

① 傷害保険適用案件

年度	件数	作業内容(件数)			
H25	5件	庭木関係(0)	草刈・除草(1)	就業途上(0)	その他(4)
H26	8件	庭木関係(1)	草刈・除草(1)	就業途上(0)	その他(6)
H27	2件	庭木関係(0)	草刈・除草(2)	就業途上(0)	その他(0)
H28	1件	庭木関係(0)	草刈・除草(0)	就業途上(0)	その他(1)
H29	6件	庭木関係(0)	草刈・除草(1)	就業途上(1)	その他(4)

作業内容

項目	主な事故の要因
庭木関係	三脚等からの転落
草刈・除草	つまずき・滑りによる転倒、器具等の接触によるケガ、ハチ等に刺される
就業途上	つまずき・滑りによる転倒
その他	つまずき・滑りによる転倒、接触等による裂傷・骨折

② 賠償保険適用案件

年度	件数	作業内容(件数)		
H25	7件	庭木関係(0)	草刈・除草(6)	その他(1)
H26	5件	庭木関係(1)	草刈・除草(4)	その他(0)
H27	4件	庭木関係(1)	草刈・除草(2)	その他(1)
H28	3件	庭木関係(0)	草刈・除草(3)	その他(0)
H29	3件	庭木関係(1)	草刈・除草(2)	その他(0)

作業内容

項目	主な事故の要因
庭木関係	器具等の接触による破損
草刈・除草	草刈機中の飛石でガラス等を破損、草刈機接触による配管等の破損
その他	物を落下・接触させて破損

(2) 事故発生ゼロを目指す

事故の発生は、会員自身の健康を損ない豊かな暮らしを奪うほか、器物や財物の破損はシルバー全体の信頼度の低下にも繋がります。

会員が心身ともに健康で生きがいのある生活の保持と信頼されるシルバーの構築に全体で取り組む必要があります。

中期計画最終年度の平成 35 年度までに事故発生ゼロを目指します。

【具体的な取り組み】

- ① 安全・適正就業推進委員会を中心に、作業現場のパトロールを強化します。
- ② 危険回避のためのチェック体制の強化を図ります。
- ③ 熱中症、ハチ刺されなど、時節的に発生確率の高い事案を把握し、周知徹底するとともに事故防止に努めます。
- ④ 草刈り作業時の飛石事故など発生率の高い案件について作業内容を分析し、再発防止策を講じます。
- ⑤ 交通ルールの順守・マナーの向上を目的とした講習会を開催します。

(3) 自己管理に努め、事故を回避

センターは、高齢者の「生きがいの充実」や「地域社会の発展」などを推進することを目的として活動をしています。

会員は日頃より自己の健康管理に努め、万全な体調で就業にあたるのが大切であり、体調不良での就業は、会員自身のケガや事故の発生率が高まることはもとより、発注者や他の会員にも多大な迷惑をかけることにも繋がります。

また、会員の個人差はありますが、加齢による身体機能の低下が進む高齢期において、各人の身体状況に適合した作業に就いていただくことがセンターの役割であります。

全会員が健康で、かつ良質な仕事を提供し続けることを目的に、会員の健康診断受診の奨励や自己の健康管理の維持に努めます。

5 適正就業の推進

会員の就業は、法に定められた範囲において、臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務にあたることが基本となっています。

また、センターの就業は、請負、委任、派遣、職業紹介など多岐に渡るため、それぞれの形態において適正な就業を確保するために、厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会発行の「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った運営を行い、公益法人としてコンプライアンス（法令遵守）の徹底を図ります。

6 組織・事業の充実強化

(1) 会員による自主的運営

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員はセンターの一員であるという自覚と責任を持つことが重要です。

シルバー人材センターは、会員の自主性・自発性を尊重する団体であり、組織の運営や仕事の開拓、受注等についても可能な限り会員自らが積極的に当たるといふ、会員の自主的な活動を基本としています。

(2) 理事会・専門委員会の充実

理事会は、センターが理念に沿った健全な発展ができるように、センターの公益目的、基本理念、組織運営の原則などを十分に理解した上で、積極的な運営を図ります。

また、当センターには、就業開拓委員会、安全・適正就業推進委員会、広報委員会、総務・企画委員会の4つの委員会がありますが、各委員会の運営に当たっては、企画・実行力を高め、担当理事を中心に会員主体の委員会としての独自性を高め活性化を図ります。

(3) 事務局体制の整備・充実

センターの事務部門を統轄する事務局は、円滑な事業運営を図るため、財務管理、就業需要調整、公益法人事務など多岐にわたる業務を行っています。

また、会員との連絡調整や会員活動への支援についても大きな役割を果たしています。

受注業務の複雑多様化、派遣就業の拡大が進む中で、正確かつ効率的な事務処理と職員の資質の向上など事務局体制の強化は、たいへん重要であります。

公益法人であることを自覚し、労働関係法令を遵守し、公正かつ適正な運営に努めます。

資格取得 ① 職業紹介責任者 ② 派遣元責任者

7 財政基盤の強化

シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者が会員となり、公共機関や民間事業所、一般家庭からの仕事を請負い、働くことを通じて社会参加することを目的とした組織であり、広い層からの利用を頂いています。

平成 23 年度には公益法人制度改革のもと、営利を目的としない公益社団法人の認定を受け、より公益性の高い運営が求められる組織となっています。

また、公益社団法人は、「収支相償」という難しい事業運営が求められており、各年度の事業実績状況の動向や収支状況等を十分見極めていく必要があります。

(1) 財政運営の状況

財政運営は、発注者からの事務費等のほか、公的機関からの助成を受け運営していますが、契約額の減少に伴う事務費収入の減少、国・市補助金の減額などにより厳しい状況にあります。

(単位：千円)

区 分	総収入額 (A)	支出総額 (B)	収 支 (A-B)	特定資産（財政運営引当資産）の状況		
				期首残高	期末残高	増 減
平成 25 年度	523,727	522,823	904	35,660	29,630	△6,030
平成 26 年度	526,704	526,368	336	29,630	23,800	△5,830
平成 27 年度	514,957	516,212	△1,255	23,800	14,920	△8,880
平成 28 年度	501,335	508,747	△7,412	14,920	7,170	△7,750
平成 29 年度	505,990	511,298	△5,308	7,170	7,170	0

(2) 運営財源の確保

平成 30 年度中の富山県内の雇用情勢は、有効求人倍率が 2 倍を超えた時期もあり全国的にも高い地域となっており、事業所等からの受注増を目的とした企業訪問活動や PR 活動を積極的に行い、就業機会の拡大に努めます。

また、公的機関に対してはシルバー人材センターの役割と意義について更なる理解を求め、財政支援の強化について、引き続き要望していきます。

また、センターも運営経費の見直しや節減に引き続き努めていきます。

(3) 事務費率の改定

事務費率については設立時より 5% に据え置きとしており、これまで利用者の負担の増加に繋がらないよう、県内でも最も低い率で運営してきましたが、平成 30 年度に 7% へ改定いたしました。

事務費収入は、センター運営の基盤をなすものでありますが、近年の契約額

の減少に伴い低下傾向にあり、センターの財政運営は国・市の補助金等の減額と相まって厳しさを増しています。

この間、センターでは事業の見直しのほか、職員数の削減や車輛・機材の縮小など経費の節減を図りながら事業運営を行っております。

将来にわたりセンターの安定運営を維持していくため収入の基盤である事務費収入の確保が重要なことであり、今後も収支バランスを見ながら適宜、事務費率の改定について検討を行います。

(4) 会費の見直し

会費については、会員の高年齢化の進展、会員拡大施策などに配慮するとともに、県内の各センターの動向も注視しながら、見直しについて検討します。

現行会費 1,000 円（互助会費：1,000 円）

県内センターの会員会費額（H30 年度）

会費額（センター数）	互助会会費（センター数）
500 円（1）	無し（1）
1,000 円（1）	1,000 円（1）
2,000 円（7）	500 円（4） 1,000 円（2） 無し（1）
2,200 円（1）	500 円（1）
2,500 円（1）	500 円（1）
3,000 円（3）	500 円（1） 600 円（1） 1,000 円（1）
3,500 円（1）	無し（1）

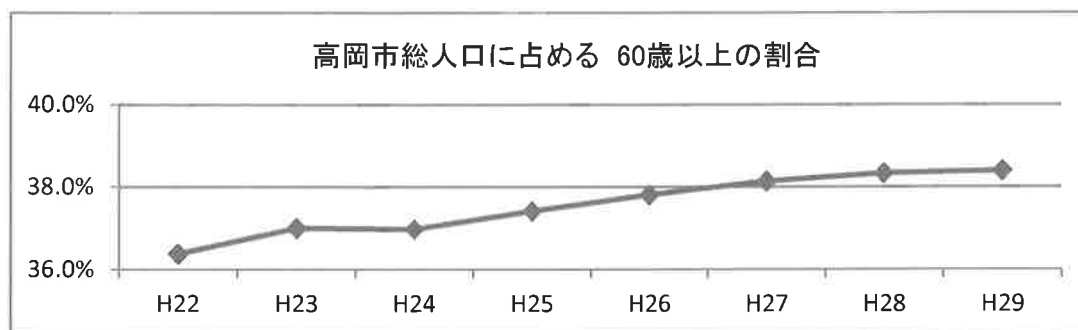
資料編

1 高岡市の60歳以上の人口推移

各年 12月末

区分	総人口（人）	60歳以上（人）	60歳以上の割合
平成22年	177,326	64,518	36.4%
平成23年	176,631	65,366	37.0%
平成24年	178,049	65,850	37.0%
平成25年	176,994	66,230	37.4%
平成26年	175,707	66,441	37.8%
平成27年	174,876	66,706	38.1%
平成28年	174,252	66,809	38.3%
平成29年	173,174	66,504	38.4%

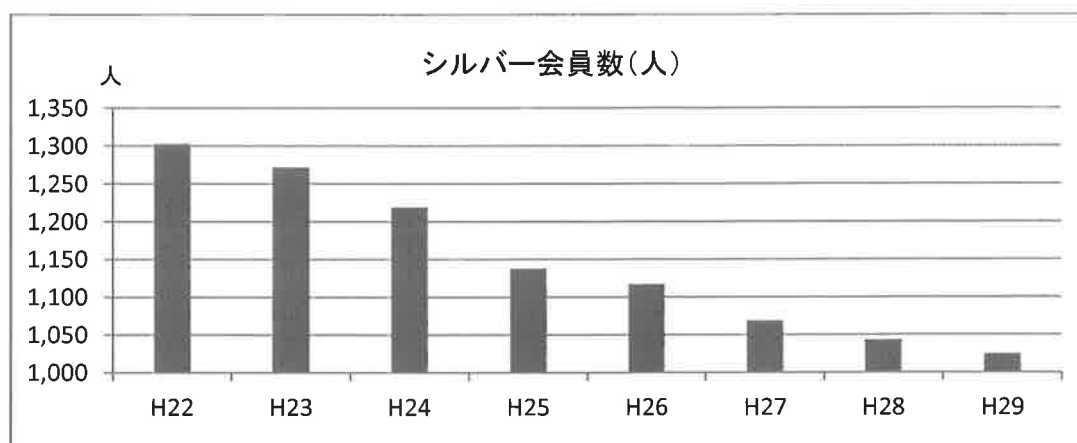
高岡市統計資料より



2 シルバー会員数と入会率

区分	市内60歳以上（人）	シルバー会員数（人）	シルバー入会率
平成22年	64,518	1,303	2.02%
平成23年	65,366	1,272	1.95%
平成24年	65,850	1,219	1.85%
平成25年	66,230	1,138	1.72%
平成26年	66,441	1,117	1.68%
平成27年	66,706	1,069	1.60%
平成28年	66,809	1,043	1.56%
平成29年	66,504	1,025	1.54%

入会率：高岡市60歳以上のうち、SC入会者の割合



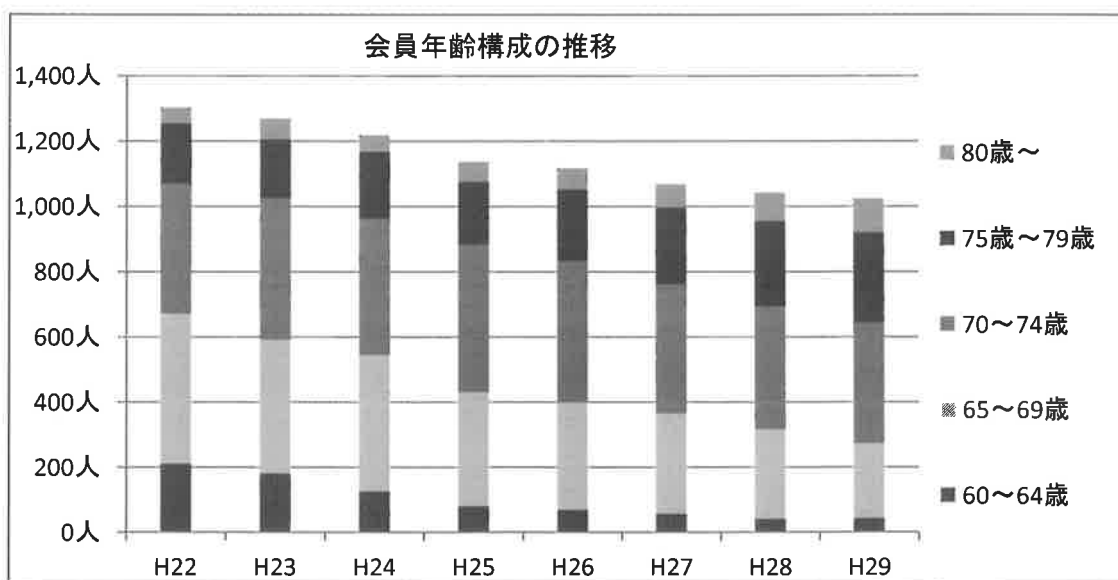
3 高岡市シルバー会員 男・女別入会率

(シルバーは高岡市内の60歳以上、健康で働く意欲のある人が入会可能)

区 分	高岡市 60歳以上人数 (各年12月末)		高岡市シルバー会員数 (各年度末)		男女別入会率	
	男性(人)	女性(人)	男性(人)	女性(人)	男性	女性
H22	28,032	36,486	850	453	3.0%	1.2%
H23	28,383	36,983	828	444	2.9%	1.2%
H24	28,570	37,280	762	457	2.7%	1.2%
H25	28,735	37,495	699	439	2.4%	1.2%
H26	28,826	37,615	678	439	2.4%	1.2%
H27	28,974	37,732	639	430	2.2%	1.1%
H28	29,004	37,805	619	424	2.1%	1.1%
H29	28,873	37,631	600	425	2.1%	1.1%

4 会員の年齢構成

区 分	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳～79歳	80歳～	合計
H22	211人	461人	398人	183人	50人	1,303人
H23	180人	411人	435人	179人	65人	1,270人
H24	125人	420人	419人	203人	52人	1,219人
H25	79人	352人	453人	191人	63人	1,138人
H26	68人	330人	435人	218人	66人	1,117人
H27	57人	309人	397人	233人	73人	1,069人
H28	39人	277人	378人	262人	87人	1,043人
H29	42人	232人	368人	278人	105人	1,025人



5 業務受託状況（県平均との比較／H29年度実績）

1. 受託先別の状況

H29年度 実績	登録会員数 下段 就業者数	公共機関		民間事業所		一般家庭		計	
		件数 下段:割合	金額 千円 割合	件数 下段:割合	金額 千円 割合	件数 下段:割合	金額 千円 割合	件数	金額 千円
高岡市	1,025人	911 件	57,399	4,014 件	284,082	10,001 件	152,723	14,926 件	494,204
	903人	6.1%	11.6%	26.9%	57.5%	67.0%	30.9%	100%	100%
県全体	7,437人	8,661 件	769,272	24,682 件	2,203,190	62,737 件	950,856	96,080 件	3,923,318
	6,438人	9.0%	19.6%	25.7%	56.2%	65.3%	24.2%	100%	100%

2. 会員1人当り受託件数

	公共機関	民間事業所	一般家庭	全 体
高岡市	0.9 件	3.9 件	9.8 件	14.6 件
県平均	1.2 件	3.3 件	8.4 件	12.9 件

3. 会員1人当り受託金額

	公共機関	民間事業所	一般家庭	全 体
高岡市	56 千円	277 千円	149 千円	482 千円
県平均	103 千円	296 千円	128 千円	528 千円

4. 1件当り受託金額

	公共機関	民間事業所	一般家庭	全 体
高岡市	63 千円	71 千円	15 千円	33 千円
県平均	89 千円	89 千円	15 千円	41 千円

6 その他

(1) 県内拠点シルバー 事務費率の状況

センター事業運営費として作業料金に下表の率で算出した事務費を徴収しています。

率は、各センターが財政運営を考慮し決定します。

県内拠点	高岡	富山	射水	魚津	氷見	滑川	黒部	砺波	小矢部	南砺	上市町	立山町	入善町	朝日町	舟橋村
事務費率	7%	9%	10%	7%	9%	8%	8%	10%	10%	10%	8%	10%	8%	10%	5~7%

(H30.8月状況)

(2) 会員会費の状況

センターは会員から会費を徴収し、シルバー会員保険等の財源の一部に充てています。

(単位:円/年額)

県内拠点	高岡	富山	射水	魚津	氷見	滑川	黒部	砺波	小矢部	南砺	上市町	立山町	入善町	朝日町	舟橋村
金額	1,000	2,000	3,000	500	3,000	2,500	2,200	3,000	2,000	3,500	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

(H30.8月状況)

第 2 次 中 期 計 画 策 定 委 員

区 分	委 員 名	備 考
委 員 長	岩 崎 外 夫	副 理 事 長、総 務・企 画 委 員 長
副 委 員 長	梶 邦 子	理 事、総 務・企 画 副 委 員 長
委 員	松 長 憲 一	理 事、就 業 開 拓 委 員 長
委 員	菊 池 幸 子	理 事、広 報 委 員 長
委 員	松 島 保 男	理 事、安 全・適 正 就 業 推 進 委 員 長
委 員	高 川 千 恵 子	理 事、総 務・企 画 副 委 員 長
委 員	佐 野 邦 枝	会 員、総 務・企 画 委 員
委 員	川 西 誠 治	会 員、総 務・企 画 委 員
委 員	前 田 陽 子	会 員、総 務・企 画 委 員

事 務 局	澤 崎 茂	専 務 理 事 兼 事 務 局 長
事 務 局	高 田 享	事 務 局 次 長 兼 総 務 係 長
事 務 局	高 田 二 夫	福 岡 支 所 長
事 務 局	島 次 美 晴	経 理・業 務 係 長

発行日 平成 31 年 3 月

発行者 公益社団法人 高岡市シルバー人材センター

〒933-0935 高岡市博労本町4番1号

TEL (0766) 20-1650 FAX (0766) 20-1648